



第二十九西千二第 (可認物便鄉級三第)

(田賦七)

米の調製に

(上) 斯様を缺點ある

卷之三

ム・ロール指と絶対的に支持して獎勵してゐるので佐藤氏の唱へてゐる土摺還元運動は全國的論争的となつて居り且國團の今後これに對する態度を注目されてゐる、この土摺還元運動の根據は次の如く學理的に説明され過多の有利點をあげられてゐるが特に民休位の向上に重大な役割あると云はれてゐる、佐藤が農村振興議員團に説明しころによれば、

今日各縣でゴム・ロール摺が普及した結果、產米の聲價が向上したものと考へるのは淺薄なことである、買ひ進みの主な理由はすべすべしてゐるので、

容量四斗ではより多くの米が辦てすべり込む結果ゴム・ロール摺のものが土摺のものに比較し重量が多い爲めである、この差増が白米を斤量販賣する消費地では歓迎されるわけである、しかるにゴム・ロール摺は味が悪いと云ふ聲があつた

の研究したところゴム・  
ロール摺では貴重な米穀の  
保護層を摩擦して除去して  
しまふ。

